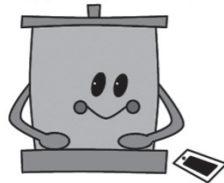


連絡よごせな!



まちとしよ

～大石田町立図書館 information～



Web OPAC
PC・スマホ版

- ◆ ☎35-3877 ◆ 公式HP <http://nji.town.oishida.yamagata.jp/library>
- ◆ 大石田町立図書館蔵書検索システム(WebOPAC)から蔵書の検索や貸出状況、新着情報の確認などができます。利用者登録をしている方は、貸出中の図書を予約することができます。詳しくは図書館にご確認ください。

- 開館時間 午前9時～午後7時(日曜日・祝日は午前9時～午後5時)
- 休館日 毎週木曜日(祝日の場合翌日) 《5月の休館日》7日(木)、14日(木)、21日(木)、28日(木)

ことばがきみのはねになる

2026年第68回
こどもの読書週間
4月23日～5月12日 4月23日は子ども読書の日

こどもの読書週間企画
4/24(金) ▶ 5/12(火)
どくしよビンゴ
ビンゴカードの本をかりて
雑誌付録をもらおう!
ミニ工作コーナー
こいのぼり&かぶと工作

大石田町内小学校・町立図書館共催
図書リサイクル市
会場 大石田町立図書館
令和9年度に統合が予定されている町内小学校と、町立図書館の除籍図書をお譲りします。 5/12(火) なくなり次第終了

今月は、どの本を読む?

新着本から話題の本・おすすめ本を紹介します!

『ダイエットは痩せられないが9割』
(コオリヤマ//著 主婦と生活社)
昨日私は痩せるといったな。あれは嘘になった、たった今。過去にダイエットで失敗したトラウマなんて、サクッと消え去ってしまう、「脂産家ネコ氏」の痛快エピソードが満載のコミック。

『草の竖琴』
(トルーマン・カポーティ//著、村上春樹//訳 新潮社)
もうなにひとつつなにも考えるまい。風を思え。傷つきやすく夢見がちな少年コリンの冒険を描いた名作「草の竖琴」に加えて、「最後のドアを閉める」「ミリアム」「夜の樹」の全4篇を収録した新訳短篇集。

『ふねのずかん やく目とつくり』
(小賀野実//監修、桂樹社グループ//編集 汐文社)
身近なのりものの役目やつくりがよくわかる本。クルーズ客船、貨物船、有人潜水調査船などを取り上げ、その役目とつくりを写真とともに紹介する。船の動画像にアクセスできる二次元コード、コピーして使えるのりものカード付き。

『ぎょうれつのできるサンドイッチやさん』
(ふくざわ ゆみこ//さく 教育画劇)
カピバラさんは、ぐうぐう山へ冒険に行く子猫のココに、冒険にぴったりな4つのサンドイッチを作りました。サンドイッチの中身は…?いろいろなカラフルサンドイッチのレシピ付き。ぎょうれつのできるおいしいえほんシリーズ。

※紹介文は「TRC MARC」より引用しています。すべて町立図書館蔵書。

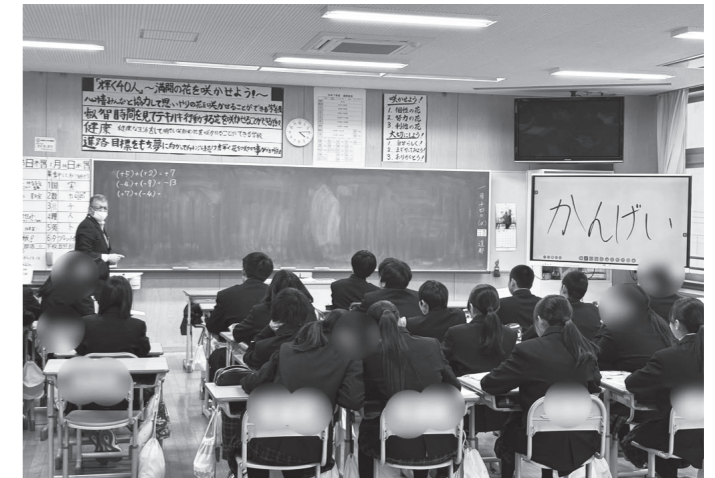
小中一貫教育の推進に向けて

大石田町教育委員会では、子どもたちの学力向上のために、令和7年度から民間の塾講師を招き、数学に特化した無料の学習塾(名称:ひかり塾)を開催しました。

全体で約半数の生徒(希望制)が参加しており、学年ごとに分かれ、学習内容の復習や応用問題に取り組んでいます。

前半が基礎コース、後半が応用コースの2コマの実施、簡単な計算問題から入試問題のような難易度の高い問題にも果敢に挑戦し、「分かった!」などの声が響き、活気に溢れた雰囲気の中で学習に取り組まれました。

小学校統合後も小中一貫教育校として、中学校進学後の学習体制強化を図るため、今後もひかり塾を継続してまいります。



■教育文化課 学校教育グループ
☎35-2111(内線252)

町長コラム

「次世代へ虹をかける」

「二礼」拍手「一礼」の意味

vol.28



こんにちはーやわらかな春の風が心地よく、過ごしやすい季節となりました。何かと忙しい時期です。お身体に気をつけてお過ごしください。

今の時期、各町内会や神社のお祭りが行われるところも多いのではないのでしょうか。のぼりが立ち、地区の皆さんが集まり、子どもたちのにぎやかな声が響く光景は心が和みます。

神社にお参りする際、「二礼二拍手一礼」を基本的に行いますが「何故なんだろう?」と、ふと疑問に思い調べてみました。

まず「二礼」は、神様への深い敬意を表すおじぎです。一度、丁寧に頭を下げることで、神前に向き合いつ心を得る意味があるとされています。次の「二拍手」は、拍手を打つことで神様に祈りを届け、自らの真心を表す作法です。その音には、気持ちを引き締め、場を清める意味も込められているそうです。そして最後の「一礼」は、お参りを終える結びの礼であり、感謝の心を込めて頭を下げる動作です。つまり全体としては、「敬意を表す↓神様に心を届ける↓感謝して結び」という流れになります。

また、お祭りなどの神事で玉串奉奠(たまぐしほうてん)を行う際にも、この作法が基本となります。玉串に自らの真心を託して神前に捧げ、その後「二礼二拍手一礼」を行うのは、敬意と祈り、そして感謝の思いを、より丁寧に神様へお伝えするためだそうです。(なお、出雲大社のように「二礼四拍手一礼」のところもあり、その場合はそれぞれの神社の作法に従うのが基本となります。)

何気なく続けてきた所作にも意味があると知ると、これからお参りする際、少し違って感じられるのではないのでしょうか。受け継がれてきた作法の意味を改めて大切にしたいものです。

大石田町長 庄司 中